

## 食料品・水産部会、料理飲食部会 合同事業 ～視察で最新情報の収集を図る～

食料品・水産部会（部会長：田中信男 舞鶴水産流通(協)顧問）と料理飲食部会（部会長：松井恭子 ㈱東舞鶴グランドホテル代表取締役）は、食材に関する業界の最新情報の収集を主な目的として、2月22日、大阪市にあるATCホールで開催された「第20回シーフードショー大阪」への視察事業を実施し、両部会から11人が参加しました。

当日は、参加者各々が水産食材や生産性の高い機器を取り扱う301の出展ブースを回り、出展者と情報交換をおこなう様子などもありました。また会場では、「第2回通販食品展示商談会大阪」が同時開催され、28の出展ブースが並んでいました。

視察を終え、参加者からは、「業務効率化と今後の販路拡大に繋がる情報を収集でき、良い視察だった」「新しいことに挑戦し、商品開発に工夫を凝らしている事業者が多く、その点

を見習っていく必要がある」などの感想が聞かれ、経営に活かすことができる貴重な部会事業となりました。



様々な水産食材等が並び、会場は来場者で賑わう（2月22日：大阪市）

## 空の移動革命 交通運輸・港湾部会が講演会を開催

交通運輸・港湾部会（部会長：久保勝舞鶴倉庫(株)代表取締役社長）は、2月28日に舞鶴グランドホテルで講演会を開催し、13人が参加しました。

講師には、㈱SkyDrive（本社：愛知県豊田市）から舞鶴市出身の羽賀雄介氏をお迎えし、「空の移動革命への挑戦～日本発 空飛ぶクルマと物流ドローンの開発～」と題してご講演いただきました。

現在、モビリティ分野の新たな動きとして、世界各国で空飛ぶクルマの開発が進んでいます。講演では、同社の「空飛ぶクルマ」の実用化に向けた取り組みと重量物運搬ドローンの最新動向をご紹介します。

同社が思い描く未来の交通と物流の話を聴き、参加者からは、「20年、30年後に向けた成長分野」「今後の発展が期待できる」「万博のレガシーとして残る」といった感想が聞かれました。

※同社の「空飛ぶクルマ」は、2025年大阪・関西万博での実用化に向けて開発を進めておられます。



「空飛ぶクルマ」はまさに移動革命  
（2月28日：舞鶴グランドホテル）